



# ミーミー会議

- [ミーミー会議の概要 \(1 ページ\)](#)
- [ミーミー会議のタスク フロー \(1 ページ\)](#)
- [ミーミー会議の制限 \(7 ページ\)](#)

## ミーミー会議の概要

ユーザはミーミー会議を使用して、電話会議を設定するか、電話会議に参加できます。電話会議を設定するユーザは、会議コントローラと呼ばれます。電話会議に参加するユーザは、参加者と呼ばれます。

## ミーミー会議のタスク フロー

始める前に

- ルータに付属されていた構成ドキュメンテーションを参照し、ミーミー会議のタスクフローに進む前に、必要な設定を確認します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">ミーミー会議のソフトキーテンプレートの設定 (2 ページ)</a>	ソフトキーテンプレートに[ミーミー (Meet-Me) ]ソフトキーを追加します。
ステップ 2	<a href="#">共通デバイス設定とソフトキーテンプレートの関連付け (3 ページ)</a> を行うには、次のサブタスクを完了します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加 (4 ページ)</a></li></ul>	(オプション) ソフトキーテンプレートを電話で使用できるようにするには、この手順か次の手順のいずれかを実行する必要があります。

	コマンドまたはアクション	目的
	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話機と共通デバイス設定の関連付け (4 ページ)</li> </ul>	
ステップ 3	共通デバイス設定電話機とソフトキーテンプレートの関連付け (5 ページ)	(オプション) 次の手順は、ソフトキーテンプレートと共通デバイス設定を関連付けるための代替手段として、または共通デバイス設定と共に使用します。ソフトキーテンプレートを適用して、共通デバイス設定での割り当てや、他のデフォルトのソフトキーの割り当てを上書きする必要がある場合は、次の手順を共通デバイス設定と共に使用します。
ステップ 4	ミーティング会議番号の設定 (5 ページ)	高度な会議を有効にし、参加者の最大数を指定して、会議の接続を切断する時期を指定します。

## ミーティング会議のソフトキーテンプレートの設定

オフフック発信状態でミーティングソフトキーを使用可能にするには、次の手順を使用します。

### 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)]。
- ステップ 2** 新しいソフトキーテンプレートを作成するには、この手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
- [新規追加] をクリックします。
  - デフォルトのテンプレートを選択して、[コピー (Copy)] をクリックします。
  - [ソフトキーテンプレート名 (Softkey Template Name)] フィールドに、テンプレートの新しい名前を入力します。
  - [保存] をクリックします。
- ステップ 3** 既存のテンプレートにソフトキーを追加するには、次の手順を実行します。
- [検索 (Find)] をクリックして、検索条件を入力します。
  - 必要な既存のテンプレートを選択します。
- ステップ 4** [デフォルトソフトキーテンプレート (Default Softkey Template)] チェックボックスをオンにし、このソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定します。

(注) あるソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定した場合、先にデフォルトの指定を解除してからでないと、そのテンプレートは削除することができません。

- ステップ5** 右上隅にある **[関連リンク (Related Links)]** ドロップダウンリストから **[ソフトキーレイアウトの設定 (Configure Softkey Layout)]** を選択し、**[移動 (Go)]** をクリックします。
- ステップ6** [設定するコール状態の選択 (Select a Call State to Configure)] ドロップダウンリストから、ソフトキーに表示するコール状態を選択します。
- ステップ7** [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] リストから追加するソフトキーを選択し、右矢印をクリックして [選択されたソフトキー (Selected Softkeys)] リストにそのソフトキーを移動します。新しいソフトキーの位置を変更するには、上矢印と下矢印を使用します。
- ステップ8** 追加のコール状態でのソフトキーを表示するには、前述のステップを繰り返します。
- ステップ9** **[保存]** をクリックします。
- ステップ10** 次のいずれかの作業を実行します。
- すでにデバイスに関連付けられているテンプレートを変更した場合は、**[設定の適用 (Apply Config)]** をクリックしてデバイスを再起動します。
  - 新しいソフトキーテンプレートを作成した場合は、そのテンプレートをデバイスに関連付けた後にデバイスを再起動します。詳細については、「共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加」と「電話機のセクションとソフトキーテンプレートの関連付け」を参照してください。

## 共通デバイス設定とソフトキーテンプレートの関連付け

(オプション) ソフトキーテンプレートを電話機に関連付ける方法は2つあります。

- ソフトキーテンプレートを **[電話の設定 (Phone Configuration)]** に追加します。
- ソフトキーテンプレートを **共通デバイス設定** に追加します。

ここに示す手順では、ソフトキーテンプレートを **共通デバイス設定** に関連付ける方法について説明します。システムが **共通デバイス設定** を使用して設定オプションを電話機に適用する場合は、この手順に従ってください。これは、電話機でソフトキーテンプレートを使用できるようにする際に、最も一般的に使用されている方法です。

別の方法を使用するには、「[電話機とソフトキーテンプレートの関連付け \(5 ページ\)](#)」を参照してください。

始める前に

[ミーティング会議のソフトキーテンプレートの設定 \(2 ページ\)](#)

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加 (4 ページ)	
ステップ 2	電話機と共通デバイス設定の関連付け (4 ページ)	

## 共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加

## 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] を選択します。
- ステップ 2 新しい共通デバイス設定を作成し、それにソフトキーテンプレートを関連付けるには、この手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
- [新規追加] をクリックします。
  - [名前 (Name)] フィールドに、共通デバイス設定の名前を入力します。
  - [保存] をクリックします。
- ステップ 3 既存の共通デバイス設定にソフトキーテンプレートを追加するには、次の手順を実行します。
- [検索 (Find)] をクリックして、検索条件を入力します。
  - 既存の共通デバイス設定をクリックします。
- ステップ 4 [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウンリストで、使用可能にするソフトキーが含まれているソフトキーテンプレートを選択します。
- ステップ 5 [保存] をクリックします。
- ステップ 6 次のいずれかの作業を実行します。
- すでにデバイスに関連付けられている共通デバイス設定を変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
  - 新しい共通デバイス設定を作成してその設定をデバイスに関連付けた後に、デバイスを再起動します。

## 電話機と共通デバイス設定の関連付け

## 始める前に

共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加 (4 ページ)

## 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックし、ソフトキーテンプレートを追加する電話デバイスを選択します。
- ステップ 3 [共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] ドロップダウンリストから、新しいソフトキーテンプレートが含まれている共通デバイス設定を選択します。
- ステップ 4 [保存] をクリックします。
- ステップ 5 [リセット (Reset)] をクリックして、電話機の設定を更新します。

## 電話機とソフトキーテンプレートの関連付け

(オプション) ソフトキーテンプレートを共有デバイス設定に関連付ける代わりに、この手順を使用します。この手順は、共通デバイス設定とともに機能します。共有デバイス設定での割り当て、またはその他のデフォルトのソフトキー割り当てをオーバーライドするソフトキーテンプレートを割り当てる場合に、この手順を使用できます。

### 始める前に

[ミーティング会議のソフトキーテンプレートの設定 \(2 ページ\)](#)

## 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックして、ソフトキーテンプレートを追加する電話を選択します。
- ステップ 3 [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウンリストから、新しいソフトキーが含まれているテンプレートを選択します。
- ステップ 4 [保存] をクリックします。
- ステップ 5 [リセット (Reset)] を押して、電話機の設定を更新します。

## ミーティング会議番号の設定

Cisco Unified Communications Manager の管理者は、ミーティング会議の電話番号の範囲をユーザに提供します。これにより、ユーザがその機能にアクセスできるようになります。ユーザは、ミーティング番号またはパターンに指定された範囲から電話番号を選択して、ミーティング会議を確立し、会議コントローラになります。

## 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[コールルーティング (Call Routing)] > [ミーティング番号/パターン (Meet-Me Number/Pattern)] を選択します。
- [ミーティング番号の検索/一覧表示 (Find and List Meet-Me Numbers)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 適切な検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。  
一致するすべてのレコードが表示されます。
- ステップ 3** レコードのリストで、表示するレコードへのリンクをクリックします。
- ステップ 4** 次のいずれかのタスクを実行します。
- ミーティング番号またはパターンをコピーするには、コピーするミーティング番号またはパターンをクリックします。[ミーティング番号/パターンの設定 (Meet-Me Number/Pattern Configuration)] ウィンドウが表示されます。[Copy] をクリックします。
  - ミーティング番号/パターンを追加するには、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックします。
  - 既存のミーティング番号/パターンを更新するには、更新するミーティング番号またはパターンをクリックします。
- ステップ 5** 適切な設定値を入力します。  
フィールドとその設定オプションの詳細については、「関連項目」の項を参照してください。
- ステップ 6** [保存] をクリックします。

## ミーティング番号とパターンの設定値

フィールド	説明
[電話番号またはパターン (Directory Number or Pattern)]	ミーティング番号または番号の範囲を入力します。 範囲を設定するには、角カッコ内にダッシュとそれに続く数値を入力する必要があります。たとえば、範囲 1000 ~ 1050 を設定するには、10[0-5]0 と入力します。
説明	説明には、任意の言語で 50 文字まで指定できますが、二重引用符 (" )、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、山カッコ (<>) は使用できません。

フィールド	説明
パーティション	<p>パーティションを使用してミーティング番号またはパターンへのアクセスを制限する場合は、ドロップダウンリストボックスから適切なパーティションを選択します。</p> <p>ミーティング番号またはパターンへのアクセスを制限しない場合は、パーティションに [&lt;None&gt;] を選択します。</p> <p><b>Max List Box Items</b> エンタープライズパラメータを使用すると、このドロップダウンリストボックスに表示されるパーティションの数を設定できます。 <b>Max List Box Items</b> エンタープライズパラメータの指定よりも多くのパーティションが存在する場合は、このドロップダウンリストボックスの横に <b>[検索(Find)]</b> ボタンが表示されます。 <b>[検索(Find)]</b> ボタンをクリックすると、[パーティションの検索/一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウが表示されます。</p> <p>(注) リストボックス項目の最大数を設定するには、<b>[システム(System)] &gt; [エンタープライズパラメータ(Enterprise Parameters)]</b> の順に選択し、<b>[CCMAdmin Parameters]</b> の下の <b>[Max List Box Items]</b> フィールドを更新します。</p> <p>(注) ミーティング番号またはパターンとパーティションの組み合わせが、<b>Unified Communications Manager</b> クラスタ内で一意であることを確認します。</p>
[最小セキュリティレベル(Minimum Security Level)]	<p>このミーティング会議番号またはパターンの最小ミーティング会議セキュリティレベルを、ドロップダウンリストボックスから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[認証のみ(Authenticated)]</b> : 非セキュアな電話機を使用した参加者が会議に参加することをブロックします。</li> <li>• <b>[暗号化(Encrypted)]</b> : 認証済みまたは非セキュアな電話機を使用した参加者が会議に参加することをブロックします。</li> <li>• <b>[非セキュア(Non Secure)]</b> : すべての参加者が会議に参加できます。</li> </ul> <p>(注) この機能を使用するには、セキュアな会議ブリッジが設定済みで使用可能になっている必要があります。</p>

## ミーティング会議の制限

Unified Communications Manager は、Unified Communications Manager サーバごとに最大 100 の同時ミーティング会議をサポートします。

その電話会議に指定された参加者の最大数を超過すると、他の発信者は電話会議に参加できません。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。